

「エポラ#1遮熱プライマー」は、当社の長年にわたる航空機用塗料をはじめとする金属屋根用塗料や遮熱塗料の研究・開発の経験と実績から生まれた環境にやさしい弱溶剤形変性エポキシ塗料です。

弱溶剤形1液変性エポキシ樹脂プライマーであるエポラ#1プライマーNに、遮熱性能をプラスしました。

エポラ#1遮熱プライマーは、遮熱塗料と組み合わせた「ダブルリフレクション工法」の下塗りに使用することで太陽からの赤外線効率よく反射し、被塗物の温度上昇を抑制します。

特長

1

優れた熱反射率を有します。

JIS K 5602に準じた測定(自社試験)で、エポラ#1プライマーと比較して、約25%の赤外線反射率アップを実現しました。遮熱塗料の下塗りに使用することで、太陽からの赤外線を効率よく反射し、被塗物の温度上昇を抑制します。

2

速乾性のため、作業性に優れています。

弱溶剤形塗料で4時間(23℃)で上塗施工が可能な速乾性塗料です。しかも刷毛さばきが良好で、ローラー作業性に優れ、作業効率を大幅に向上できます。

3

弱溶剤希釈で幅広い下地適応性。

NT塗料用シンナーAで希釈しますので既存塗膜への影響は少なく、塗り替え用プライマーとして最適です。

4

防錆性に優れています。

付着性の優れた特殊変性エポキシ樹脂の使用により、基材への密着性に優れ、確かな防錆力を発揮します。

5

クロム、鉛フリーの低臭タイプで環境に配慮した塗料です。

クロムや鉛系の防錆顔料を使用していないため環境に配慮した塗料です。また、弱溶剤タイプのため、低臭で作業者に安全な塗装作業が可能です。

主な適用下地

●鉄、トタン

主な適用既存塗膜

●ポリウレタン塗料、アクリル塗料

※シリコン系およびフッ素系塗料は必ず試し塗りをを行い、付着に問題がないことを確認した後に施工してください。

主な適用上塗り塗料

- 弱溶剤形パラサーモシリーズ
- 弱溶剤形パラサーモ外壁用シリーズ

その他、弊社弱溶剤形上塗りにもご使用いただけます。

※ご不明な場合は、弊社営業所までお問い合わせください。

荷姿

●エポラ#1遮熱プライマー ……………16kg

試験成績

試験項目	試験方法	規格	試験結果
耐水性	JIS K 5600 浸漬時間168時間	塗膜の外観に異常のないこと	異常なし
耐塩水噴霧性	JIS K 5600 浸漬時間168時間	塩水噴霧に耐えること	異常なし
耐複合サイクル防食性	塩水噴霧0.5時間→湿潤(30℃)1.5時間→熱風乾燥(50℃)×2時間→温風乾燥(30℃)2時間を1サイクルとして36サイクル	複合サイクルの試験に耐えること	異常なし
赤外線反射率	JIS K 5602に準ずる	近赤外波長域の反射率を明記	70%

① 下地調整

- フクレ、割れ、浮きなどの劣化塗膜はクレン工具を用いて除去してください。
- サビは、電動工具やサンドペーパーなどを用いて除去し、被膜面を清掃してください。

② シンナー

- NT塗料用シンナーAを必ずご使用ください。

③ 施工方法

施工方法	刷毛・ローラー塗り	エアレス塗装
希釈率	0～5%	0～10%
使用量	0.16kg/㎡	0.16kg/㎡
1缶あたりの塗り面積	100㎡/缶	88㎡/缶
膜厚(ドライ)	40μm	40μm

④ 乾燥条件

乾燥条件	5℃	23℃	30℃
指触乾燥	1時間	30分	20分
塗り重ね乾燥(施工時間)	16時間以上10日以内	4時間以上7日以内	3時間以上5日以内

※高温下では下塗りの硬化反応が著しく速まるため、上塗を5日以内に塗り重ねてください。

※水性上塗り塗料についても使用可能です。施工間隔については23℃条件下で12時間以上を目安にしてください。プライマーに含まれる有機溶剤が揮発しないと上塗りの剥離原因となります。詳細は最寄りの営業所にお問い合わせください。

■施工上の注意事項

- 塵・ホコリ・砂・油・樹液・藻類などは、施工前に水洗い、溶剤拭きなどで十分に除去し、乾燥した清浄な面にしてください。
- 高圧水洗浄やスプレー施工では、周辺の状況をよく確認し充分に養生を行ってください。
- 表面の塵、ホコリ、コケ、藻類や既存塗膜の浮き、ハガレなどは高圧水洗浄(10Mpa以上)などで完全に除去してください。高圧水洗浄は圧力とノズル距離を正しくとってください。
- 油分が付着している場合は溶剤拭きなどで除去してください。
- 発錆部は、ワイヤーブラシやサンドペーパー、電動工具などで入念にサビを除去し、時間をあけずに金属用プライマーを拾い塗りしてください。
- 改修工事の場合、既存塗膜の種類や劣化状態を確認し、健全な状態でしっかりと付着していることをテープテストなどにて確認してください。
- 改修工事の場合、既存塗膜の種類によっては溶剤などの影響により既存塗膜を侵し、リフティング(塗膜のチヂレ)やフクレが発生する場合がありますので、既存塗膜を必ず確認の上で塗装仕様を決定してください。塗装仕様については、最寄りの営業所にお問い合わせください。
- 表面に特殊セラミック処理・特殊ガラスコート処理、フッ素コート処理、撥水処理、光触媒処理などの特殊な処理を施した素材には、塗料が付着しない場合や、塗膜に不具合を生じる場合がありますので施工を避けてください。

ありますので施工を避けてください。

■塗料と塗装について

- 標準塗装仕様はあくまで「標準」的な仕様であり、下地の状態、形状、施工条件、気象条件などにより使用量や可使時間など多少幅を生じることがあります。
- 施工当日から施工後翌日までに降雨、降雪が予想される場合や気温5℃以下、湿度80%以上での施工は避けてください。塗膜が未乾燥状態で降雨や夜露などにあたると艶引けや白化などの原因につながります。特に冬季は乾燥に時間がかかりますので、乾燥までの時間を考慮して作業を終了してください。気温が5℃以上でも、気温が低い場合は塗膜の乾燥に時間がかかりますので施工間隔が変わります。
- 標準塗装仕様の使用量が塗られていない場合、本来の塗膜性能が発現しない場合がありますので使用量を厳守して施工してください。
- 塗料の希釈率は標準塗装仕様の範囲内で試験施工などにより決定し、同一条件で施工してください。希釈率は施工条件により変化します。塗料の希釈は「NT塗料用シンナー A」を必ずご使用ください。
- 塗料を小分けして使用する場合は、あらかじめ缶の塗料を充分に攪拌し、塗料を均一な状態してから小分けを行ってください。
- 各工程において、施工間隔(塗り重ね時間)を守ってください。施

工間隔は、気温により変わります。塗膜の硬化が不十分な状態で施工すると再溶解やリフティング(塗膜のチヂレ)を起こしたり、施工間隔を過ぎると付着性が悪くなります。施工間隔があった場合は、施工面をサンディング、シンナー拭き施工面を清浄にした後、再度、「エポラ#1遮熱プライマー」を施工してください。

- 施工後、未乾燥状態で降雨や結露など、水分の影響を受けて白化した場合、そのまま塗り重ねると剥離する恐れがあります。ペーパー掛け、シンナー拭きなどで白化した層を除去してください。詳しくは、最寄りの営業所にお問い合わせください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目の方向により上塗の色や仕上がり異なって見える場合があります。
- 可塑剤が多く含まれる塩ビ・ポリカーボネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塩ビクロスなどへの直接施工は避けてください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。
- シーリング面への施工は避けてください。塗膜の汚れや割れの原因となります。
- 使用器具は、使用後すみやかにラッカーシンナー(もしくはウレタンシンナー、アクリルシンナー)で洗浄してください。
- 塗料は用途・用法を守り、カタログの仕様や注意事項をよくお読みになり正しくご使用ください。

取り扱い上の注意事項(よくお読みになり正しくご使用ください)

- 火気のあるところでは、絶対に使用しないでください。
- 万一、火災が発生した場合はABC粉末消火器など適切な手段を用いてください。水は使用しないでください。
- 施工中、乾燥中ともに換気を充分に行い、ミストや蒸気、ガスを吸い込まないようにしてください。
- 安全衛生上の観点から、取り扱い中は皮膚に触れないようにし、有機溶剤の蒸気を吸わないよう適切な保護手袋、有機ガス用防毒マスク、防じんマスク、保護眼鏡、保護面、保護衣などの防護具を着用してください。
- 取り扱い作業中、容器からこぼれないよう注意してください。こぼれた場合は直ちに布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 材料の付着した布やウエスなどは自然発火や引火の危険性があるため、廃棄するまで水につけておいてください。
- 容器(取っ手も含む)はつり上げないでください。止むを得ずつり上げるときには、適切なつり具で垂直に持ち上げ、落下に充分注意してください。偏荷重になると取っ手が外れ、落下する危険性があります。
- 取り扱い後は洗顔、手洗いおよびうがいを充分に行ってください。
- 目に入った場合は多量の水で少なくとも5分以上洗い、すみや

かに医師の診察を受けてください。

- 誤って口に入った場合は、口を水でよくすすぎ、すみやかに医師の手当てを受けてください。飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けてください。
- 材料が皮膚に付着した場合は、多量の水で洗い流したのち中性石鹸と水で充分に洗ってください。痛みや外観変化があるときは医師の診察を受けてください。作業着などに付着した場合は、すみやかに着替えを行ってください。
- エポキシ樹脂系塗料は体質により皮膚障害などの感作を受ける場合があります。医師の指導を受け必要な措置を講じてください。
- 皮膚障害、呼吸障害がみられる場合は、医師の診断を受けてください。
- 蒸気やガス、粉じんを吸い込んで気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 本製品の保管は必ずフタをし、雨露や直射日光の当たらない換気の良い冷暗所に保管してください。現場で材料を保管する場合は、直射日光や雨が当たらない、風通しの良い涼しい場所で保管してください。特に夏季に車内での保管や高温になる場

所での保管は危険ですので避けてください。また、開封後は、できるだけ早めにご使用ください。

- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 中身を使いきってから廃棄してください。また、洗浄液・廃液・汚泥などは関係法令に基づき、自社で適切に処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- 本製品は、環境に配慮した材料を用いていますが、ご使用いただいたすべての人の健康状態を保証するものではありません。
- 本製品は揮発性の化学物質(有機溶剤など)を含有し臭気が発生します。あらかじめ元請や施主、近隣住民への説明を行い、了解を得てください。臭気が周辺にある物に付着する場合があります。付着が予想されるものは、施工箇所からできるだけ遠ざけ、屋内に揮発成分が流入しないように養生を行ってください。また、化学物質過敏症やアレルギー体質の方がいる場合には本製品との接触や施工を避けてください。
- 本製品は危険物です。本製品の取り扱い並びに輸送及び保管については、労働安全衛生法や消防法、道路運送車両法、船舶安全法、港則法などの各種適用法令を遵守してください。
- 製品をご使用の際は、必ず、警告ラベル、安全データシート(SDS)をご参照ください。

*製品改良のため、仕様などを予告なしに変更することもあります。ご了承ください。

【その他、ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所へお問い合わせください】

㊦ 日本特殊塗料株式会社

■お問い合わせ先

東京営業所	〒114-8584 東京都北区王子3-23-2	☎(03)3913-6203 FAX(03)3913-6323
神奈川営業所	〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10	☎(0463)23-2135 FAX(0463)23-3739
中部営業所	〒472-0006 愛知県知立市山町東並木12	☎(0566)81-8111 FAX(0566)81-8124
大阪営業所	〒565-0853 大阪府吹田市春日1-4-12	☎(06)6386-8492 FAX(06)6338-3560
中四国営業所	〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13	☎(082)423-8231 FAX(082)423-8256
九州営業所	〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726	☎(0942)89-5766 FAX(0942)89-5762

●日本特殊塗料ホームページ <https://www.nttoryo.co.jp/>